

雷別地区自然再生事業箇所における野生動物自動撮影調査について (2月調査予定分のお知らせ)

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターでは、雷別地区自然再生事業箇所周辺における中大型哺乳類の生息状況を把握するため、下記のとおり自動撮影装置による調査を行います。

記

1. 目的

この調査は雷別地区自然再生事業箇所周辺にカメラ式の自動撮影装置を設置し、周辺を利用している中大型哺乳類の生息状況(種類、利用頻度等)を把握することを目的としています。

2. 調査時期

1回目 12月1日から12月22日までの
3週間(実施済み)

2回目 2月4日から2月25日までの3週間

3. 調査箇所

雷別地区自然再生事業箇所内の歩道沿いなど9定点に自動撮影装置を設置します。

4. 調査方法

調査は赤外線感知装置付きの自動カメラを使用します。装置は24時間稼働し、動物が装置前を通過すると自動的に撮影を行います。

5. その他

調査結果については、ホームページ上で紹介していく予定です。



自動撮影装置の設置状況(平成21年2月)



エゾシカ(平成21年2月12日5時52分撮影)



キタキツネ(平成21年2月13日19時03分撮影)



エゾキウサギ(平成21年2月6日22時15分撮影)